

関係者各位

## 当社の現状に関するご報告

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本日、「平成 25 年 12 月期第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の発表を行い、当社グループは平成 25 年 12 月期第 3 四半期の連結業績（平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）において、売上高 802 百万円、営業利益 88 百万円、経常利益 62 百万円を計上いたしました。

昨年度はこの第 3 四半期において投資用マンションの 1 棟販売があったことから、前年同期と比べて売上・利益ともに見劣りする成績とはなりましたが、既存事業における収益力の強化、今期より注力しております買取再販事業の着実な成果、有利子負債をはじめとする全社的なコスト削減を継続して徹底し、計画通りに、順調に推移しております。

しかしながら、安定収益での事業運営を継続している一方で、この事業規模・収益体制で「良し」と考えているわけではありません。今後の企業成長には既存事業の強化に加え、再生開始当初から目標としておりました開発事業における新規物件の安定供給が必須であり、その体制構築を目指していく方針に変わりはありません。

開発事業は用地の選定・取得から完成・販売により利益を創出するまで長期の時間を必要とするうえ、今後の市況を鑑みると用地情報も希少であり価格も上昇傾向にあります。建築コストと合わせて必要とされる先行性資金や人的資源の確保、様々な開発リスクもありますが、企業価値向上に向けて財務基盤及び収益基盤の強化を図り、少しでも早く新規プロジェクトに着手できるよう、引き続き努力してまいります。

上記課題の改善を図る重要な施策として、平成 25 年 10 月 4 日に発表しております新株予約権の発行並びにその調達資金による事業の買収を進めております。

現状では複数の検討候補先との協議の段階であり、会社として買収先及び買収金額の適正性をしっかりと判断して買収を進めてまいります。検討候補先の買収が可能となった場合には新株予約権の割当先から資金調達を実施することで、自己資本部分が大幅に拡充され、財務基盤の強化が図れることとなり、金融機関など対外的な取引先からの評価や信用度の向上が十分に期待できます。さらには、買収企業からの売上貢献等による事業規模の拡大や将来への継続的な企業成長を実現させるための基盤ができ、新規プロジェクトの早期着手や新たなことへの積極的なチャレンジができるようになると考えております。

現状に甘んじることなく、企業価値・株主価値のさらなる向上に尽力してまいりますので、株主様、お客様、お取引業者様などの関係者の皆様には、引き続き変わらぬご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

平成 25 年 11 月  
株式会社陽光都市開発  
代表取締役 田中 忍